



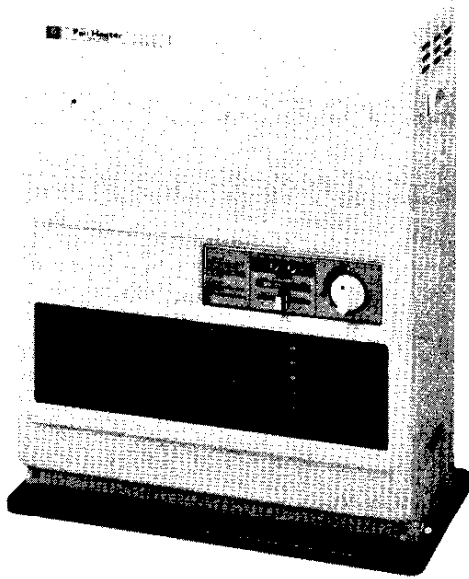
大阪ガス

# ガスファンヒーター

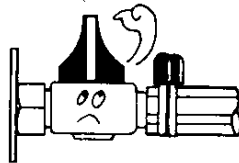
取扱説明書

43-710型  
43-711型

保証書付



ガスゴム管も  
ときどき点検を  
よいゴム管を  
カッチリと……



ガス器具を  
お使いになったあとは  
必ずガス元せんも  
閉める習慣を



ガス器具は  
ガスの種類にあつた  
正しいものを……

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

このたびは大阪ガスのファンヒーターをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

正しくご使用いただくために「取扱説明書」をよくお読みくださいますようお願いいたします。

## 目 次

---

特に注意していただきたいこと	1
各部の名称	6
器具の設置	7
使用方法	9
不完全燃焼防止装置が作動したときの処置方法	11
安全装置および防止装置が作動したときの処置方法	12
日常の点検・手入れ	13
故障・異常の見分け方と処置方法	15
保管(長時間使用しない場合)	15
仕様	16
■外形寸法図	16
アフターサービス	17

---

### 換 気 に ご 注 意

この器具は強制給排気式(FF式)ではありません

# 特に注意していただきたいこと

## 使用ガスについてのご注意

器具(銘板)に表示してあるガス(ガスグループ)以外のガスでは使用しないでください。(銘板は器具の右側面に貼ってあります)

[注] この部分をご確認ください。

[銘板]

[例]

ガスストーブ	
型式名	GS-30NS(G)
都市ガス用	
ガス区分	6C
ガス消費量 (kcal/h)	3000
松下住設機器株式会社 松下電器産業株式会社	

ガスストーブ	
型式名	GS-30NS(P)
LPガス用	
ガス消費量	kg/h
松下住設機器株式会社 松下電器産業株式会社	

## 使用電源についてのご注意

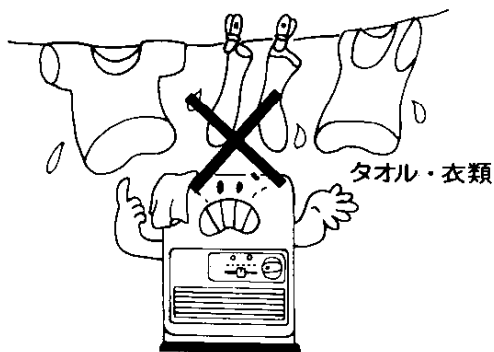
器具(銘板)に表示してある電源(单相100V・60Hz)以外の電源では使用しないでください。(銘板は器具の右側面に貼ってあります)

Ⓢ CHP
定格電圧 100V 定格消費電力 33W
定格周波数 60Hz
松下電器産業株式会社

## 用途についてのご注意

- 暖房以外の用途(洗濯物の乾燥など)には使用しないでください。
- 衣類の乾燥などに使用しないでください。

(衣類などを器具の上に掛けたりしますと、温風の出口がふさがれてしまい、器具内に熱がこもり、異常過熱の原因になったり、火災になる危険性があります。)



## 使用場所についてのご注意

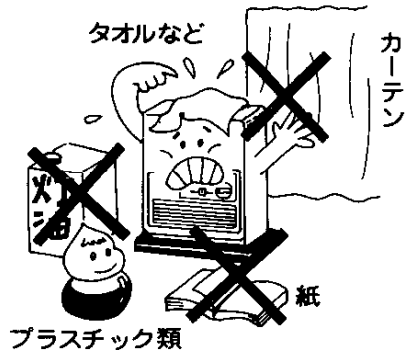
- 強い風の吹き込むところでは使用しないでください。

(風で火が吹き消えることがあります)

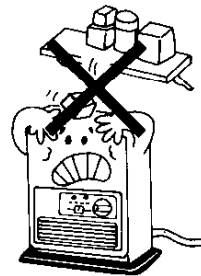
- お部屋の出入口など人の通るところでは使用しないでください。

(火傷や転倒のおそれがあります。また効果的な暖房が得られないことがあります。)

- カーテンなどの燃えやすいもののそばでは使用しないでください。

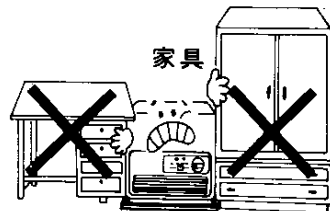


- たなの下など落下物の危険のあるところでは使用しないでください。



- 家具、壁、その他の可燃物から十分離れたところで使用してください。

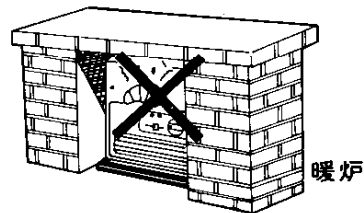
(詳しくは7ページをお読みください)



- 換気(給気・排気)が十分できるところに設置してください。

●暖炉に入れて使用しないでください。

- 水平なところに置いて使用してください。



## 器具の設置について

正しく設置して使用してください。(詳しくは7～8ページをお読みください)

# 使用上のご注意

## 1. ガス漏れ予防

- ゴム管はガス用ゴム管（JISマーク、大阪ガス♥マーク、または年号の入っているもの）を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。

（ビニル管は弾力性がなく、熱に弱く）危険です。

- ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるゴム管は、必ず取り替えてください。なお、1シーズンごとに1回は点検してください。

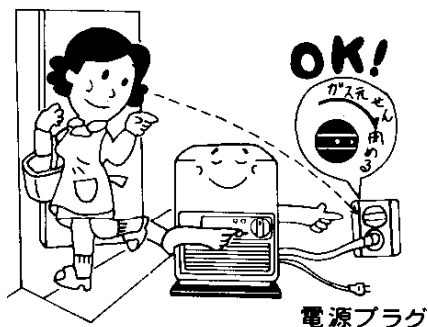
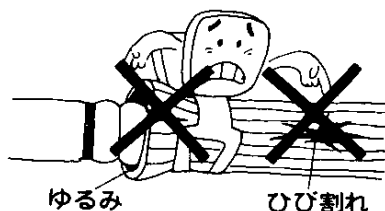
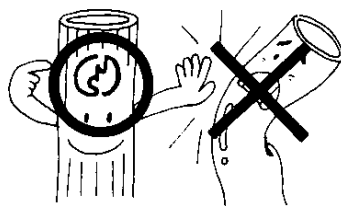
- 使用時の点火・消火のほか、使用中には時どき正常に燃焼していることを作動ランプで確かめてください。

- 使用後は、必ず器具せんつまみとガス元せんを閉めて消火したことを確かめるとともに、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。特に外出時と就寝前には閉めてあるか確認してください。

- 未使用のガス元せんには、ゴムキャップを取り付けてください。

ガス用ゴム管

ビニル管



## 2. 火災予防

- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。

（カーテンや衣類などを温風吹出口に近づけますと、火災になる危険性があります。）

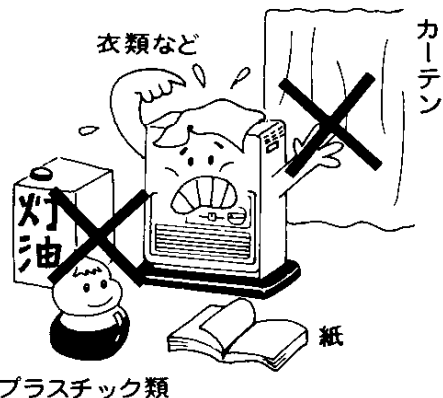
- 器具の近くで、ヘアースプレー・殺虫剤などを使用したり、器具にかけたりしないでください。

（引火や、腐食のおそれがあります）

- 温風吹出口、空気吸込口やその中の対流用ファン部にもものを入れたり、ふさいだりしないでください。

（高温の温風熱のために燃えたり、火傷）するおそれがあります。

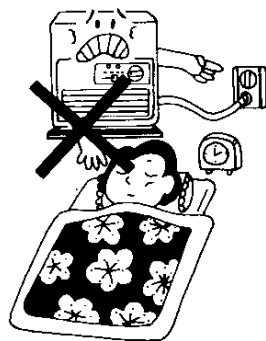
- 火をつけたまま、持ち運ばないでください。（転倒すると危険です）



- 器具にやかん、なべ、花びんなどをのせないでください。

(水が器具内部に入ったりしますと腐食することがあるばかりでなく、漏電・火災の危険性があります。また水が室温調節レバーのスライド内部に入りますと、燃焼しないことがあります。)

- 火をつけたままで、外出・就寝は絶対にしないでください。



### 3. 火傷にご注意

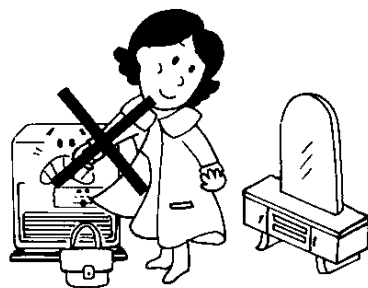
- 器具には腰をかけたり、のったりしないでください。  
(火傷・変形のおそれがあります)



- 使用中および消火直後は、器具(特に温風吹出口)は熱くなっておりますので、手を触れないでください。  
特に、お子様のいるご家庭では注意してください。(火傷のおそれがあります)



- 器具を使用中のとき、近くで着替えなどをしないでください。  
(衣服に燃え移るおそれがあります)
- 温風をじかに長時間身体に当てないでください。  
(火傷のおそれがあります)  
特に、乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方には、まわりの方が注意してください。



## 4. 換気にご注意

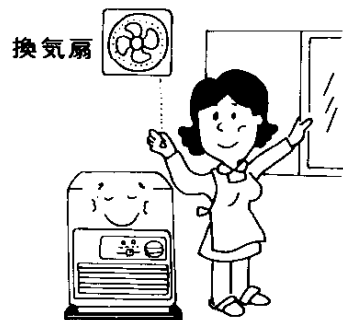
- 使用中は、30分に1回、1分間以上は換気扇を回すか、窓を開けるなどして換気を行なってください。

(この器具は強制給排気式(FF式)ではありませんので、換気が必要です。)

- 換気をせずに、連続して長時間使用しないでください。

(閉めきった部屋で長時間使用しますと、空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。気密性の良いアルミサッシ窓のときには、特に換気に注意してください。)

- 部屋の換気口は、つねに確保し、ものなどでふさがないようにください。



## 5. ガス事故防止

ガス漏れに気づいたときは、すぐにガス元せんを閉め、窓や戸を全部開けて、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社に連絡してください。

- [注] 万一ガス漏れしたときは、電気のスイッチの「入・切」や、マッチ・ライターの使用は爆発の危険性がありますので絶対に避けてください。



## 6. 異常時の処置

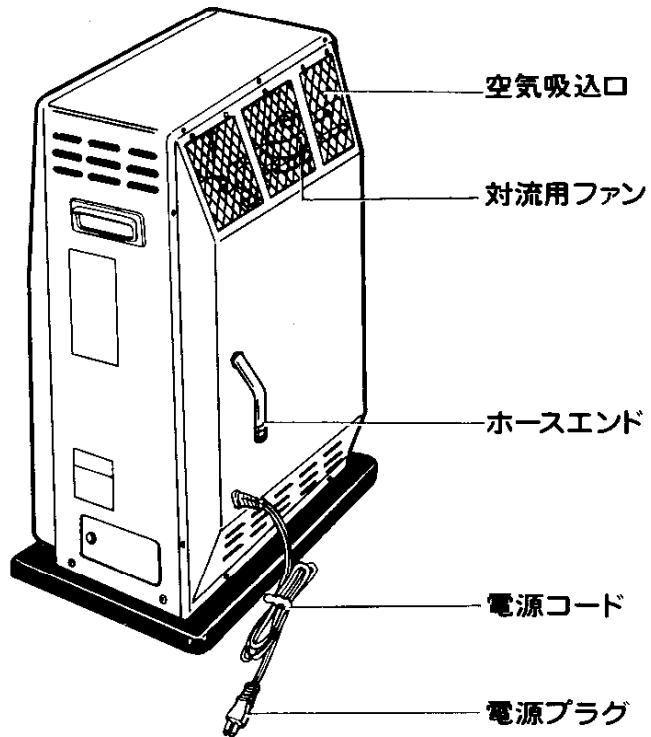
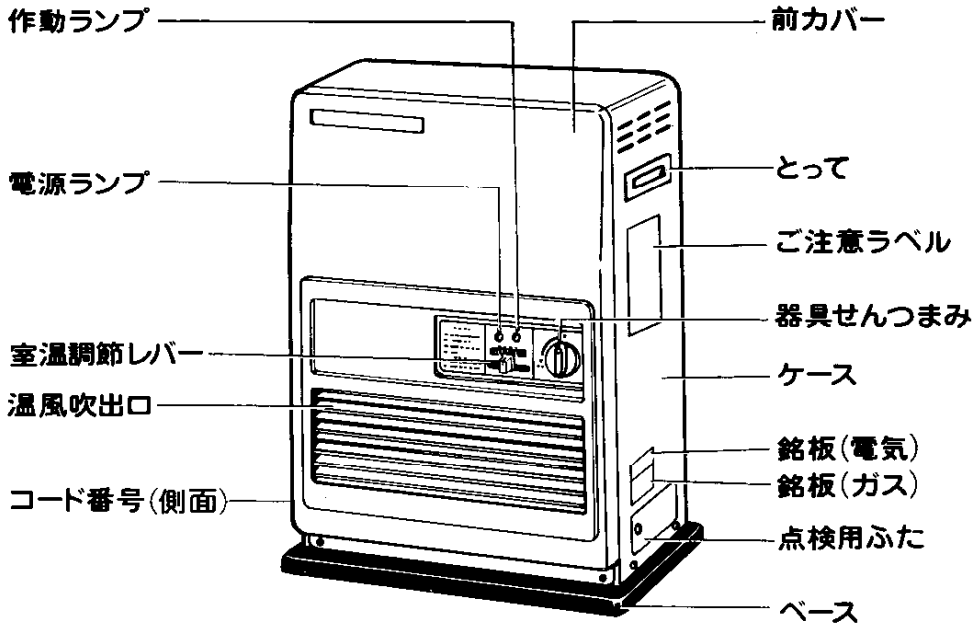
万一、異常燃焼(炎が異常に立ち上がる、すすが出るなど)をおこしたときや、緊急の場合は、あわてずに器具せんつまみとガス元せんを閉め、お近くの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社に連絡してください。



## 日常の点検・手入れ

- 日常の点検・手入れは、必ず行なってください。  
(詳しくは13～14ページをお読みください)
- 故障、または破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。万一、具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買上げの大阪ガスサービスショップ、もしくは最寄りの大阪ガス支社に修理を依頼してください。

# 各部の名称





# 器具の設置

## 設置前の準備

### 1. こん包材の除去

包装部品を取り除いてください。

[注] 包装部品とホースエンドのキャップはシーズンオフなど収納されるときに使用いたしますので、保管してください。

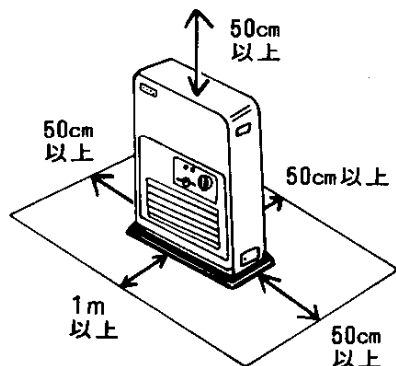
### 2. 使用ガスおよび使用電源の確認

器具(銘板)に表示しているガス(ガスグループ)および電源(単相100V・60Hz)と、ご使用になるガスおよび電源と一致しているか確認してください。

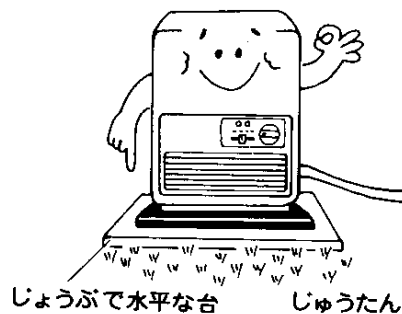
### 3. 設置場所、および周囲の危険物、防火措置について

〈周囲に可燃物(木製の壁、たななど)のある場合〉

- 周囲は十分な間隔を取って設置してください。
  - 後方・側方の壁より50cm以上離してください。
  - 器具の前方は1m以上離してください。



- じゅうたんなどが器具に触れないようにしてください。
- 毛足の長いじゅうたんの上で使用する場合は、じょうぶで水平な台の上のせて使用してください。



# 設置

## 1. ゴム管の接続

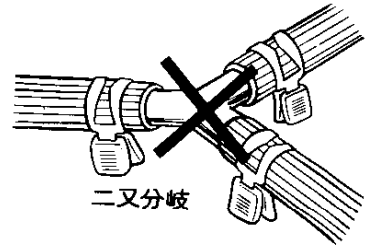
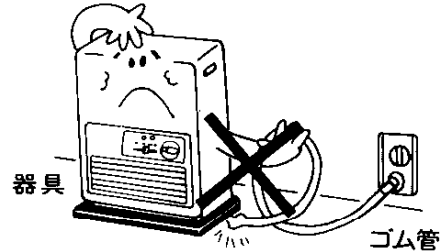
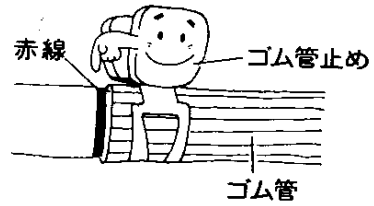
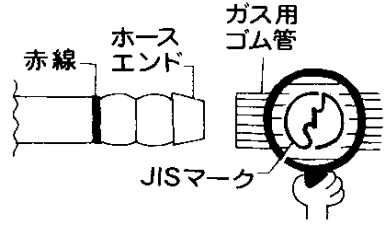
- ゴム管はガス用ゴム管（JISマーク、大阪ガス♡マーク、または年号の入っているもの）を使用し、ビニル管は絶対に使用しないでください。

（ビニル管は弾力性がなく、熱に弱く）危険です。

- ゴム管は、できるだけ短く（3m以内）して使用してください。また、折れ、ねじれ、引張りなどのないようになしてください。
- ゴム管はホースエンドの赤線まで差し込み、ゴム管止めでしっかり止めてください。
- ゴム管は器具に触れたり、器具の下を通したりしないようになしてください。

- ゴム管の継ぎたしや、二又分岐は行なわないでください。

- ゴム管は他の部屋から使用する部屋まで延長したり、壁・天井・床などを通したりしないでください。

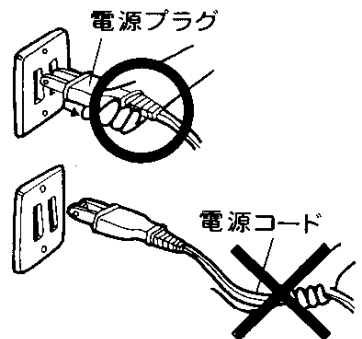


## 2. 電源コードの接続

- 器具せんつまみを「止」の位置にし、電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

- 器具の前面に電源コードが回り込み、過熱されたり、電源コードが器具に触れたりすることのないようになしてください。

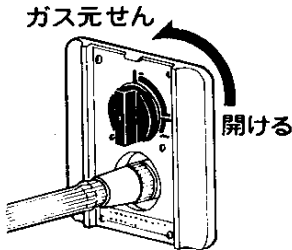
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、断線、その他の故障の原因になります。



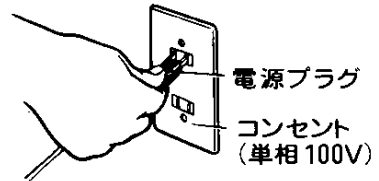
# 使用方法

## 点火前の準備と確認

- 器具せんつまみが「止」の位置にあることを確認したのち、ガス元せんを全開にしてください。



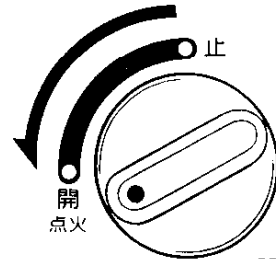
- 電源プラグをコンセントに差し込んでください。



## 点火

### 1. 点火

- ① 器具せんつまみを「点火」の位置までいっぱい回して1~2秒間持ち続けたあとで手を離してください。
- ② 作動ランプは放電中は点滅(約30秒間)し、安定燃焼になると点灯します。



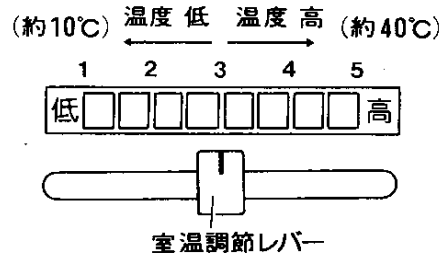
器具せんつまみ

#### [注]

- 電源ランプは器具せんつまみを回すと、燃焼する、しないにかかわらず点灯し、対流用ファンが回ります。
  - メンバーナー燃焼中は作動ランプが点灯しています。
  - 点火時ににおいがすることがありますが異常ではありません。
  - 使用中に「シャーッ」と音のすることがありますが、これはガスの通過音で、異常ではありません。
  - 点火したあとや室温調節器(ルームサーモ)が作動したあと、および消火したあとに「チリチリ」と金属音がすることがあります。これは燃焼器部分の金属が膨張・収縮する際の音で、異常ではありません。
- ③ 器具せんつまみから手を離し、約30秒後に作動ランプが点灯しない場合は、再度、点火操作を繰り返してください。
  - ④ はじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入って点火しにくいことがあります。このときは2~3回点火操作を繰り返してください。

# 温度調節

- 室温調節レバーで「高」から「低」の範囲で合わせてください。



- 室温調節レバーの目盛りと、室温のめやす

目 盛 り	1(低 温)	3	5(高 温)
室温のめやす	10℃ぐらい	23℃ぐらい	40℃ぐらい

- ご使用のお部屋をもっと暖かくしたいときには、レバーを「高」の方向へ動かしてください。
- 暖かすぎるときには、「低」の方向へ動かしてください。
- 室温調節レバーは、無段階にどの位置にもセットできます。

〔ご注意〕室温調節レバーのセット温度は、空気吸込口付近の温度ですから、お部屋の温度計とは必ずしも一致しません。あくまでも、めやすと考えてください。

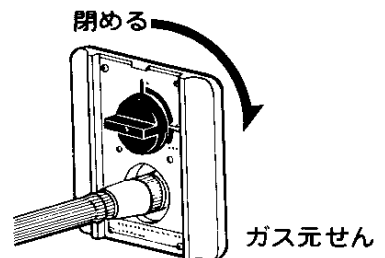
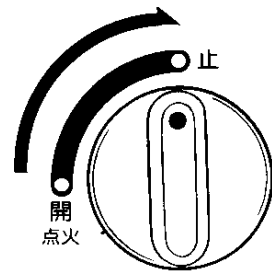
〔注〕この器具についている室温調節器は燃焼を自動的に「強燃焼」→「弱燃焼」、または「弱燃焼」→「強燃焼」にするだけで、燃焼を止めません。

（お部屋の大きさ、家屋の構造、設置場所、室外温度などによっては、弱燃焼になってもお部屋の温度が上がっていくことがありますので、このときはいったん器具せんつまみを「止」の位置まで確実にもどし燃焼を止めてください。

# 消 火

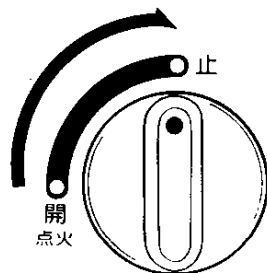
- ①器具せんつまみを「止」の位置まで確実にもどしてください。
- ②メインバーナーが消火し、作動ランプおよび電源ランプが消灯します。
- ③ご使用後は、必ずガス元せんを閉めてください。

〔注〕燃焼中、器具せんつまみを「開」のままにしてガス元せんの操作による消火はしないでください。



## 停電後の再使用方法

- 器具を使用中、停電により燃焼が停止したときは、器具せんつまみを「止」の位置まで確実にもどしてください。
- 再使用されるときは、(点火)の項の順序で操作を行なってください。



## 不完全燃焼防止装置が作動したときの処置方法

- ①使用中に、万一メインバーナーが不完全燃焼した場合は、不完全燃焼防止装置が働き、自動的にガスが止まります。
- ②作動ランプが消えた場合は、すぐに器具せんつまみを「止」の位置まで確実にもどしてください。
- ③下表の原因で不完全燃焼防止装置が作動した場合は、処置方法により処置してください。

作 動 の 原 因	処 置 方 法
1. 部屋の空気中の酸素が異常に少なくなった。	お部屋の換気を十分に行なう。 (詳しくは5ページをお読みください)
2. 空気吸込口にほこりが多量に付着している。	空気吸込口の掃除をする。 (詳しくは13ページをお読みください)
3. 温風吹出口の詰まり。	温風吹出口の掃除をする。 (詳しくは14ページをお読みください)
4. 温風吹出口の近くに障害物がある。	前方の障害物を取り除く。 (詳しくは7ページをお読みください)

# 安全装置および防止装置が作動したときの処置方法

## 処置について

器具せんつまみで点火操作をしても、メインバーナーに着火しなかったり、使用中にメインバーナーが消火したり、また自動的に運転が止まったときは、次の方法ならびに15ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」により処置してください。

## 消火安全装置

- 使用中、万一メインバーナーの炎が風などで消えたときや、ガスの供給が止まったときは、消火安全装置が働いて自動的にガスが止まります。(約50～80秒後)
- メインバーナーの消火に気づいたときは、すぐに器具せんつまみを「止」の位置まで確実にもどしてください。
- 再点火されるときは、器具内に残ったガスが十分に排出されるのを待ってから(約10分後)、点火操作を行なってください。  
〔注〕すぐに点火操作をしますと、爆発着火するおそれがあります。

## 停電時安全装置

- 停電のときはガスが止まり燃焼が停止します。停電時のご使用はできませんので11ページの「停電後の再使用方法」に従ってお使いください。

## 過熱防止装置

### 器具過熱防止装置(温度ヒューズ)

- 使用中、メインバーナー部分の温度が異常に高くなったときは、器具過熱防止装置(温度ヒューズ)が切れ、燃焼が停止します。
- 器具過熱防止装置(温度ヒューズ：91℃)の交換は、お買上げの大阪ガスサービスショップ、もしくは最寄りの大阪ガス支社に依頼してください。

## 過電流防止装置<電流ヒューズ>

- 使用中、何らかの原因で過電流が流れたときは、電流ヒューズが切れてガスが止まり、燃焼が停止します。
- 電流ヒューズ(管形ヒューズ：ⓐ125V・3A)の交換は、お買上げの大阪ガスサービスショップ、もしくは最寄りの大阪ガス支社に依頼してください。

# 日常の点検・手入れ

## 点検・手入れの際のご注意

- 次項の「日常の点検」以外はお買上げの大阪ガスサービスショップ、もしくは最寄りの大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見付けられたら、15ページの**故障・異常の見分け方と処置方法**を参照してください。
- お手入れは、器具せんつまみとガス元せんを閉め、必ず電源プラグを抜き、器具が冷えてから行なってください。
- 器具内部(安全装置、電気部品およびガスの通路部分)は絶対に分解しないでください。

## 点検

- ゴム管が古くなってひび割れしたり、器具に触れたり、折れてはいませんか。また、ゴム管がガス元せんやホースエンドの赤線まで十分に差し込まれ、ゴム管止めで止めてありますか。
- 器具のまわりや温風吹出口付近に燃えやすいものはありますか。
- 電源コードがいたんでいませんか。
- 器具の下、空気吸込口および温風吹出口などに、ちり・ほこりがたまっていませんか。

## お手入れ

### 1. 空気吸込口と温風吹出口のお手入れ

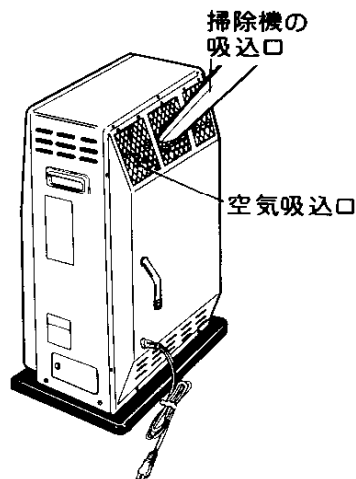
- 掃除機などで空気吸込口や温風吹出口のほこりを吸い取ってください。

(1週間に1回以上)

- 空気吸込口や温風吹出口にほこりがたまりますと温風の風量が少なくなり、暖房能力が低下すると同時に、器具内の温度が高くなり危険です。

(不完全燃焼防止装置が働き、消火することがあります。)

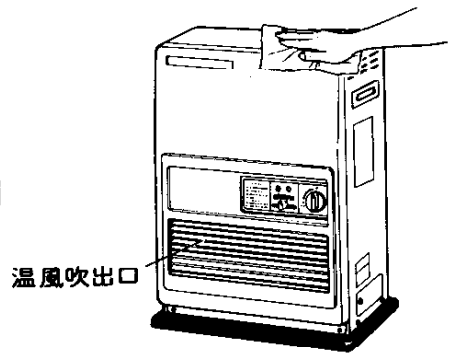
- 使用中は危険ですから掃除をしないでください。



## 2. 器具本体のお手入れ

- ケースや、温風吹出口などが、ほこりなどで汚れたときは、布などでふき取ってください。

(ベンジンやシンナーなどでふかないでください。)



## 3. 空気取入口のお手入れ

この器具は床に置いて使用するため、ほこりやごみが付着しやすい器具です。ほこりが多量に付着しますと、不完全燃焼の原因になります。

- (1) シーズンはじめのご使用前や、シーズンの終わりには、空気取入口にたまったほこりを掃除機などで吸い取るか、ブラシなどで取り除いてください。

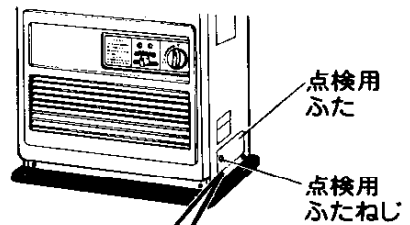
- ① ケース右側の点検用ふたねじを取って、点検用ふたをはずしてください。

- ② お手入れ後は、点検用ふたを元通りに取り付けてください。

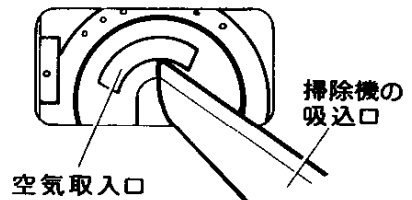
### 〔ご注意〕

- 掃除のとき、器具内部の部品は調整してありますので、空気取入口のほこり・ごみを取る以外は、触れたり、位置を動かさないでください。また、特に電気部品や配線などには絶対に手を触れないでください。

- 必ず器具せんつまみとガス元せんを閉め、電源プラグを抜き、器具が冷えてから行なってください。



(点検用ふたをはずした内側)



- (2) お手入れ方法がわからないときは、また上記の掃除をしてもご使用中、燃焼状態がおかしい(異臭がする)ときは、お買上げの大阪ガスサービスショップ、もしくは最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。



# 故障・異常の見分け方と処置方法

原因	現象	器具せんつまみを「開」の位置まで回しても、電源ランプが点灯しない	メンバーナーに着火しない	使用中に消火する	燃焼状態がおかしい (異臭がする)	ガスのおいがある	電源ランプは点灯するが 作動ランプが点灯しない	処置方法	参照ページ
電源プラグの抜け		○	○					コンセントに差し込む	9
ガス元せんが閉まっている			○				○	ガス元せんを全開にする	9
ガス元せんの開き不足			○	○			○	ガス元せんを全開にする	9
ゴム管の中に空気が残っている			○				○	器具せんつまみを「点火」の位置でしばらく保持する	9
ゴム管が折れている			○	○			○	ゴム管の折れをなおす	8
ゴム管のひび割れ・穴あき						○		新しいゴム管と交換する	3
ゴム管の接続が不完全						○		ゴム管の接続を確実にする	8
空気取入口にほこりが詰まっている			○	○	○	○	○	ほこりなどを取り除く	14
器具の銘板と使用ガスが不一致			○		○	○	○	♡	1
点火装置の故障			○				○	♡	—
過熱防止装置が切れている (温度ヒューズ)	○			○				♡	12
電流ヒューズが切れている	○			○				♡	12
停電した	○			○				(停電後の使い方)に従う	11
空気吸込口がふさがれている				○				障害物を取り除く	—
温風吹出口がふさがれている			○	○				前方の障害物を取り除く	7
空気吸込口がほこりで詰まっている				○				掃除する	13
お部屋の空気中の酸素が異常に少なくなった				○				お部屋の換気を十分する	5

♡印、またはその他ご不審な点がありましたら、ただちに使用を中止し、お買上げの大阪ガスサービスショップ、もしくは最寄りの大阪ガス支社にご相談、または修理をご依頼ください。

## 保管(長時間使用しない場合)

おしまいになるときは、次の要領でお手入れをしてください。

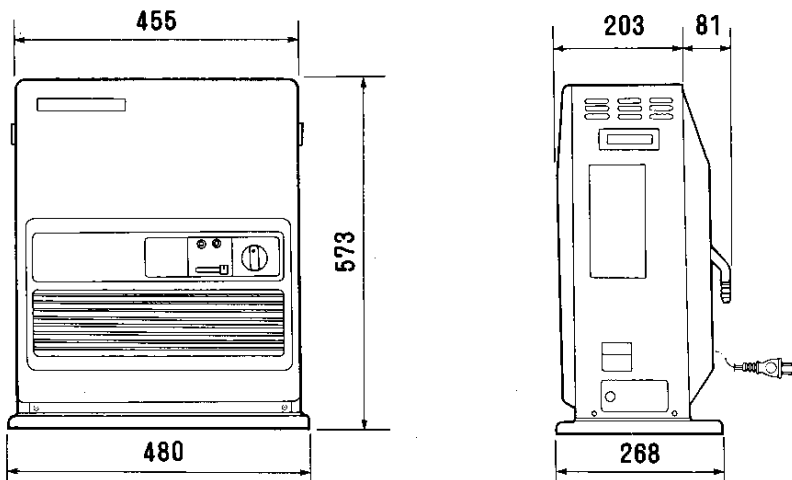
- 電源プラグをコンセントより抜いてください。
- ガス元せんを閉め、ゴム管をガス元せんよりはずし、ホースエンドにキャップをかぶせておいてください。
- 空気吸込口のほこりを取り除いてください。
- 各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにお買上げになったときの箱の中に、がたつかないように正しく入れ、湿気の少ないところへ保管してください。  
(しまい方は、箱上面の折り返し部に表示してあります)

# 仕様

品名	ガスファンヒーター		
機種名	43-710型	43-711型	
型式の呼び	GS-22NS	GS-30NS	
温度調節の有無	あり		
種類	燃焼方式	表面燃焼式	
	給排気方式	開放式	
	放熱方式	強制対流式	
点火方式	交流電源連続放電点火式		
標準適室	6~9畳	8~12畳	
電気関係	電源	単相 100V, 60Hz	
	消費電力	32W	33W
	電源コード長さ	2 m	
外形寸法	高さ573×幅480×奥行268mm		
重量(本体)	11.5kg	11.6kg	
安全装置	不完全燃焼防止装置・消火安全装置・停電時安全装置 過熱防止装置(温度ヒューズ)・過電流防止装置(電流ヒューズ)		

使用ガス 使用ガスグループ	43-710型		43-711型		ガス接続口
	型式名	1時間当たりの ガス消費量	型式名	1時間当たりの ガス消費量	
都市ガス用	6 C	GS- 22NS(G)	GS- 30NS(G)	2200kcal/h	3000kcal/h
	1 3 A			2200kcal/h	3000kcal/h
	6 A			2150kcal/h	2950kcal/h
LPガス用	GS- 22NS(P)	0.17kg/h	GS- 30NS(P)	0.226kg/h	φ9.5mm ガス用ゴム管

## ■外形寸法図 [単位: mm]



# アフターサービス

- 15ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に示すような故障の症状があった場合、この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検をしていただき、なお異常のあるときはお買上げの大阪ガスサービスショップ、もしくは最寄りの大阪ガス支社にお申し出ください。
- ご不審な点や故障のおきたとき、また部品については、お買上げの大阪ガスサービスショップ、もしくは最寄りの大阪ガス支社にお申し出ください。
- ご連絡いただくときは、器具の左側面に貼付してあるコード番号も合わせてお知らせください。

**(4) 43-7 1 1(U)**

大阪ガス株式会社 **02**

**(N) 43-7 1 1(U)**

大阪ガス株式会社 **05**

## 転居される場合

ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、お買上げの大阪ガスサービスショップ、もしくは最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。

## 保証について

この器具には保証書がついています。当社は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。（詳しくは保証書をご覧ください）

保証書を紛失されますと無料修理期間であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。

## 補修用性能部品の最低保有期間について

無料修理期間経過後の修理については、お買上げの大阪ガスサービスショップ、もしくは最寄りの大阪ガス支社にご相談ください。

修理によって性能が維持できる場合は有料修理致します。

ガストーブの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。

- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 本社・支社所在地および電話番号表

本 社	大阪市東区平野町 5 - 1	電話 大 阪 0 6 (202) 2221	☎541
南 支 社	大阪市西成区玉出東 2 - 9 - 41	電話 大 阪 0 6 (652) 0001	☎557
北 支 社	大阪市淀川区十三本町 3 - 6 - 35	電話 大 阪 0 6 (301) 1251	☎532
堺 支 社	堺市住吉橋町 2 - 2 - 19	電話 堺 0722 (38) 1131	☎590
北 摂 支 社	高槻市藤の里 3 9 - 6	電話 高 槻 0726 (71) 0361	☎569
阪 神 支 社	西宮市和上町 4 - 11	電話 西 宮 0798 (26) 3101	☎662
東 部 支 社	東大阪市稲葉 2 - 3 - 17	電話 河 内 0729 (62) 1131	☎578
京 阪 支 社	枚方市西田宮町 16 - 17	電話 枚 方 0720 (41) 1251	☎573
神 戸 支 社	神戸市中央区相生町 5 - 13 - 10	電話 神 戸 078 (576) 5231	☎650
京 都 支 社	京都市中京区烏丸御池梅屋町 358	電話 京 都 075 (231) 8151	☎604
奈 良 支 社	奈良市学園北 2 - 4 - 1	電話 奈 良 0742 (44) 1111	☎631
和 歌 山 支 社	和歌山市本町 1 - 1	電話 和 歌 山 0734 (31) 2481	☎640
姫 路 支 社	姫路市神屋町 4 - 8	電話 姫 路 0792 (85) 2221	☎670
東 播 支 社	加古川市加古川町粟津 29 - 1	電話 加 古 川 0794 (21) 1801	☎675
豊 岡 支 社	豊岡市三坂町 6 - 5 7	電話 豊 岡 07962 (3) 2221	☎668
湖 南 支 社	草津市追分町字荒堀 680 - 1	電話 草 津 0775 (62) 5311	☎525
彦 根 支 社	彦根市大東町 9 - 4 1	電話 彦 根 0749 (22) 3131	☎522
(長浜営業所)	長浜市南呉服町 3 - 4	電話 長 浜 07496 (2) 7171	☎526)

## 大阪ガス株式会社